

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		例規システム活用公開事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部 総務企画部 所属課 総務課 所属班 総務・男女共同参画班	課長名 後藤一男 担当者名 飯開輝久雄 (内線) 1217					
	施策	24	行財政改革の推進			法令根拠						
	基本事業	82	市民サービスの向上									
予算科目	会計	1	款	2	項	1	目	1	事業連番	11019	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 7 コスト削減優先度評価結果 6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 市の条例や規則等を掲載した合志市例規集のデータベース化を図り、庁内LAN(グループウェア)を利用し、市職員や市民がパソコンの画面上で例規集を見られるようにするもの。併せて、法令・判例も検索できるシステムとするもの。												
【業務の流れ】 ・本市の例規データを持つ懶ぎようせいと契約し、年4回のデータ更新を行った。 ・例規集の情報公開コーナーへの配置												

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 年4回のデータ更新	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 年4回のデータ更新
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 職員 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 例規総本数 ⇒ イ 本
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 例規集をデータ化することにより、最新の例規集を各職員が自席のパソコンで活用することが出来る。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 職員数 ⇒ イ 人 ⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア トラブルで公開できなかった件数 ⇒ イ 回
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 満足度の高いサービスを受ける。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 窓口サービス等の苦情等件数 ⇒ イ 窓口アンケートの総合評価点数 点

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	0	
		繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	1,879	1,764	1,890	1,764	1,764	1,764	
	(A) 事業費計	千円	1,879	1,764	1,890	1,764	1,764	1,764	1,764	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
延べ業務時間	時間	3	3	10	3	3	3	3		
(B)人件費計	千円	12	12	40	12	12	12	12		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,891	1,776	1,902	1,804	1,776	1,776	1,776		
活動指標	ア 本 イ		665	698	705	706	710	715	720	
対象指標	ア 人 イ		343	337	331	330	325	319	313	
成果指標	ア 回 イ		53303	53909	54518	54518	55124	55732	56346	
上位成果指標	ア 件 イ 点		0	0	0	0	0	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

旧町で庁舎内LANが整備されたことに伴い導入。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

ハード面の技術進歩がめざましく、多量のデータが扱えるようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

なし。

事務事業名	例規システム活用公開事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 データ化することにより、誰もが簡単に例規を検索・閲覧できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市の例規をデータ化するものであり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・職員向けではあるが、全ての事業につながり妥当である。 ・「例規公開事業」と一緒にして、対象を「職員」と「市民」にし、意図を「年間検索回数」を「トラブルで公開できなかった件数」に変更した。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 データの更新回数を増やすことで、最新の例規とすることができるが、例規集台本追録との関係から、現時点での更新回数は適当と考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 職員の事務の執行に支障をきたす。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 本市の例規策定に携わった業者との契約でありデータ更新を現在の使用料以内で、今後も契約をお願いする。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務的には、年度当初の契約のみであり、データの入れ替え及び保守は業者が行う。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象が職員であり適当である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、事業を統合し見直した。 ②有効性については、適切である。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、公平である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・データの更新回数を増やすことで、最新の例規とすることができるが、例規集台本追録との関係から、現時点での更新回数は適当と考える。 ・「例規公開事業」と統合して、対象を「職員」と「市民」にし、意図を「年間検索回数」を「トラブルで公開できなかった件数」に変更した。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○															
	維持 低下																	
(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 例規集の台本とリンクしなければならず、更新回数を増やすことで追録代(印刷製本費)の増加につながることが考えられる。																		

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)